

三重県内企業 女性社長比率は 9.5% 過去最高を更新

全国平均を上回る水準を維持し 7 年連続過去最高

三重県・「女性社長」分析調査（2025 年）



本件照会先

服部 光次（支店長）
帝国データバンク
四日市支店
059-353-3411

発表日

2025/12/12

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、
ご自由に引用して下さい。

SUMMARY

2025 年 10 月時点で、三重県内企業の女性社長割合は 7 年連続過去最高の 9.5% となったが、1 割には届かなかった。業種別では「不動産」が 20.8% でトップ。一方で、「鉱業」は 4.0% となり、全業種のなかで唯一 5% を下回った。都道府県別で「三重県」は 16 番目に上昇し、引き続き女性社長割合は緩やかに上昇すると見込まれるが、今後も女性起業家の育成・支援が求められる。

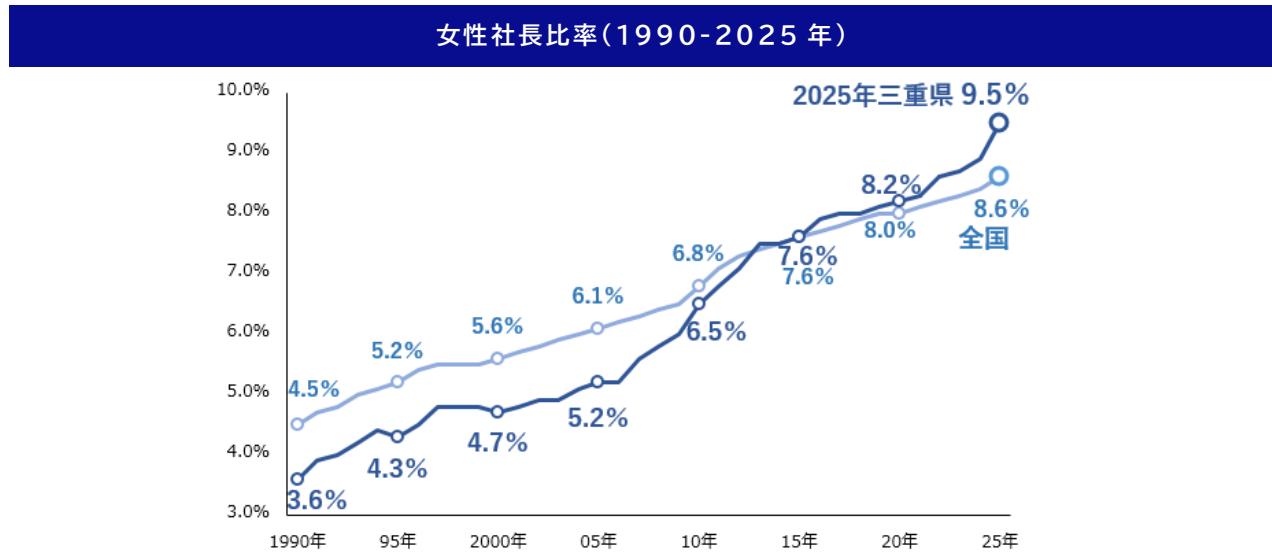
帝国データバンク四日市支店は自社データベースをもとに、三重県約 23000 社の事業会社を対象に女性が社長（代表）を務める企業について分析を行った。

同調査の公表は 2024 年 10 月に続き今回で 12 回目だが、統計としては遡れる 1990 年から分析対象に含めている。

集計対象は「株式会社」「有限会社」「合同会社」「合名会社」「合資会社」。

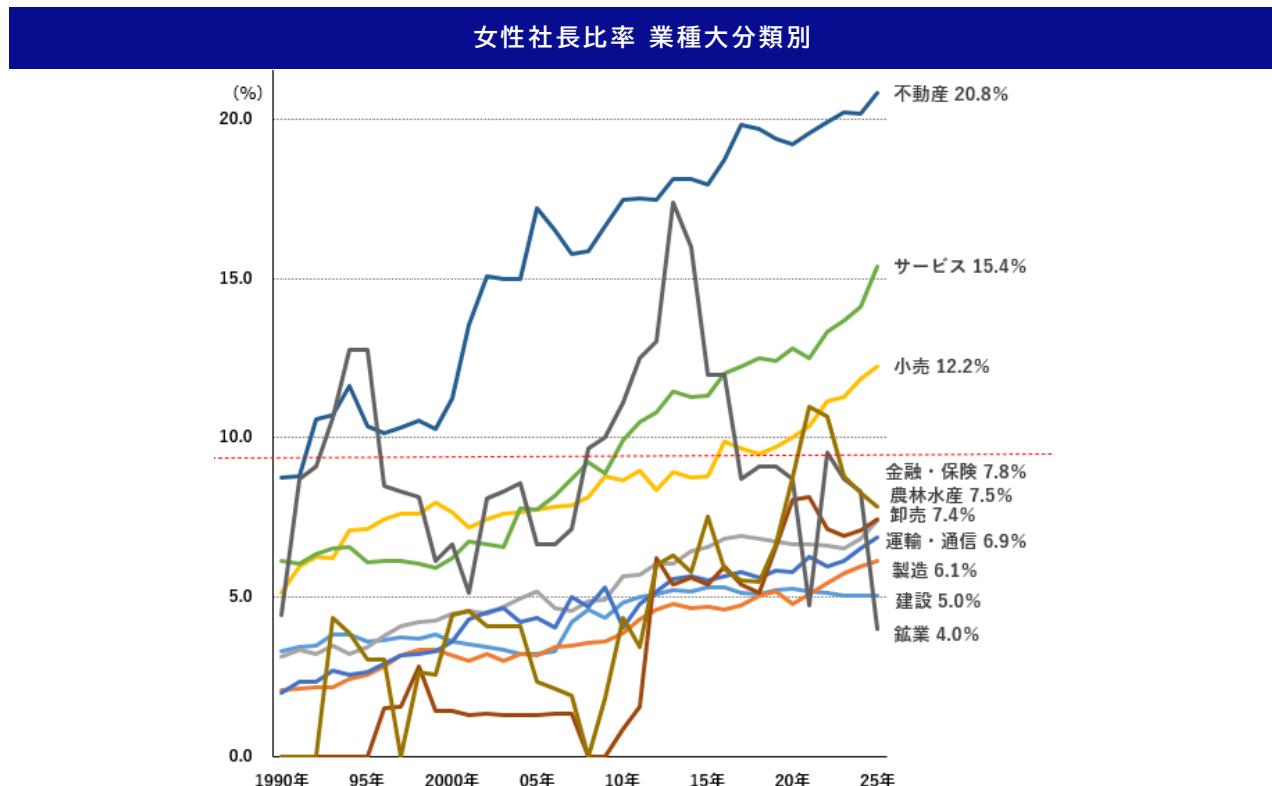
三重県内企業の女性社長比率は 9.5%、7 年連続で過去最高

三重県内企業の女性社長比率について 2025 年 10 月時点では 9.5% となり、前年を 0.6pt 上回り、7 年連続で過去最高を更新した。全国比率は 8.6% で、統計として遡れる 1990 年(3.6%)から上昇を続けて 2013 年にはじめて全国平均を上回り、以降は全国平均を下回ることなく上昇しているが依然として 1 割未満にとどまっている。



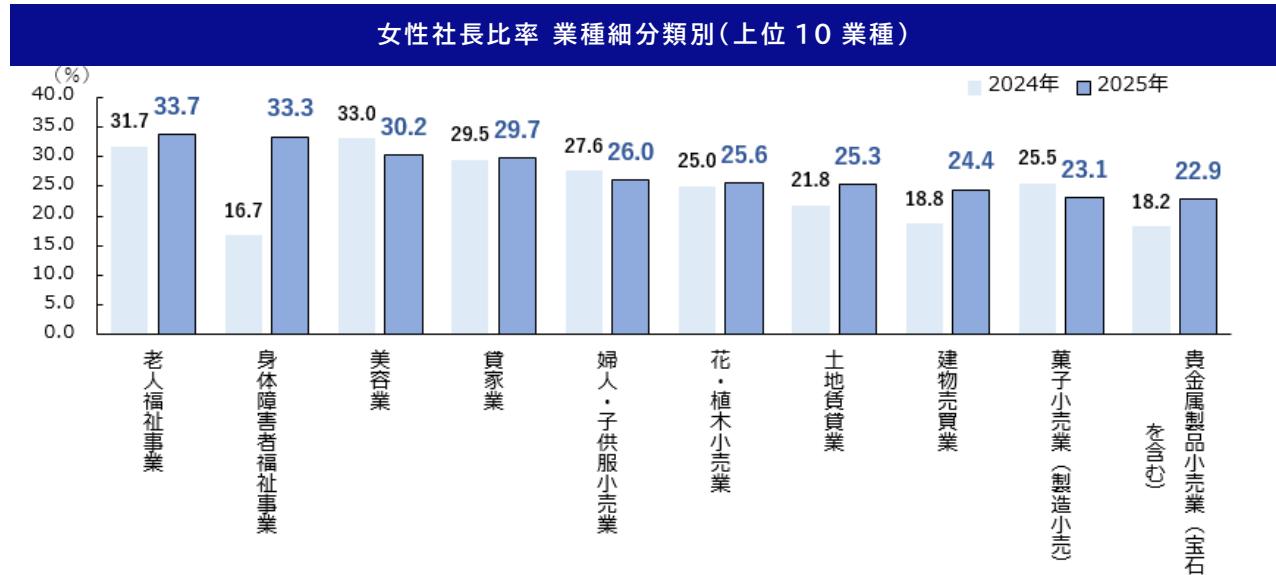
「不動産」が 20.8% でトップ、「鉱業」「建設」「製造」は低水準

業種別に女性社長の比率をみると、「不動産」が 20.8% でトップだった。続く「サービス」(15.4%) や「小売」(12.2%) といった「BtoC」業種で女性社長比率が高かった。一方、他の 7 業種は全体(9.5%)を下回り、なかでも「鉱業」は 4.0% で最も低く、「建設」、「製造」も依然低水準にとどまっている。



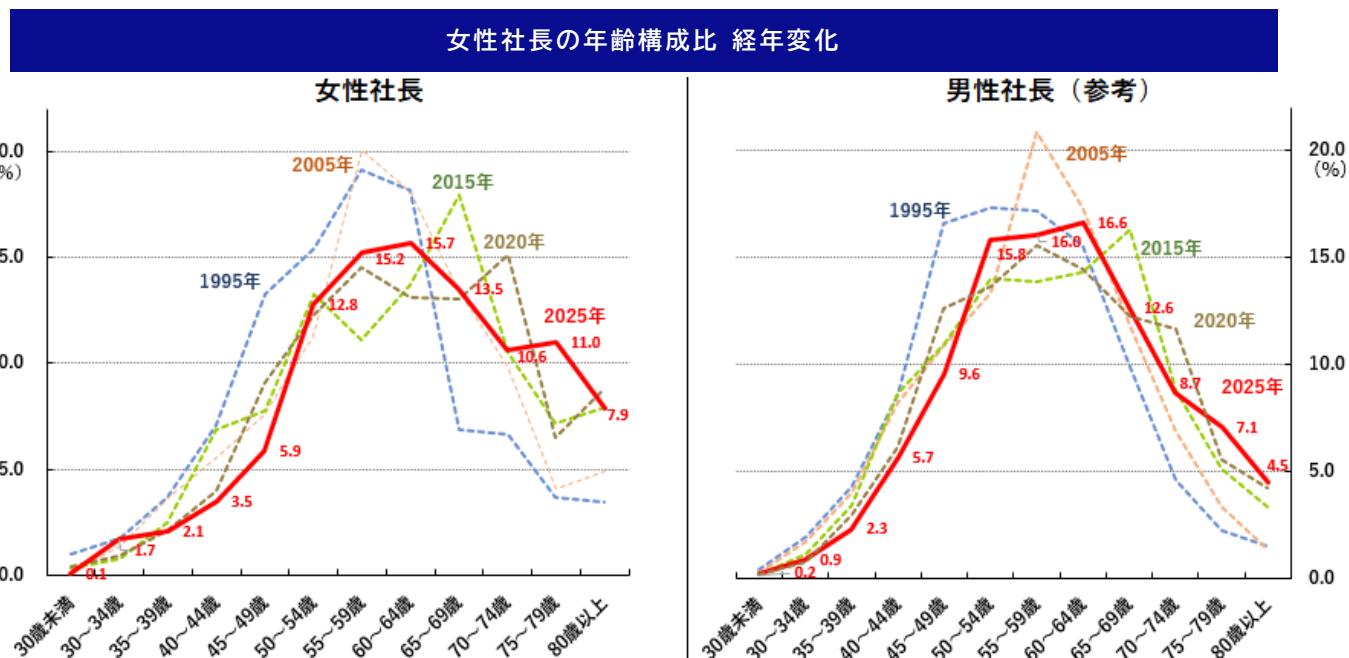
業種細分類別でみると、「老人福祉事業」(33.7%)が前年から 2.0pt 上昇し、最も高かった。次いで「身体障害者福祉事業」(33.3%)と社会福祉関連が続き、昨年トップだった「美容業」は同 2.8pt 減少し 30.2% で 3 番目であった。

一方、業種細分類別で低い業種をみると、製造業の「金型・同部分品・付属品製造」(1.3%)が前年に続いて最も低く、次いで「各種機械・同部分品製造」、「木材・竹材卸」(ともに 1.6%)となつた。



女性社長は「60～64 歳」が 15.7% で最多

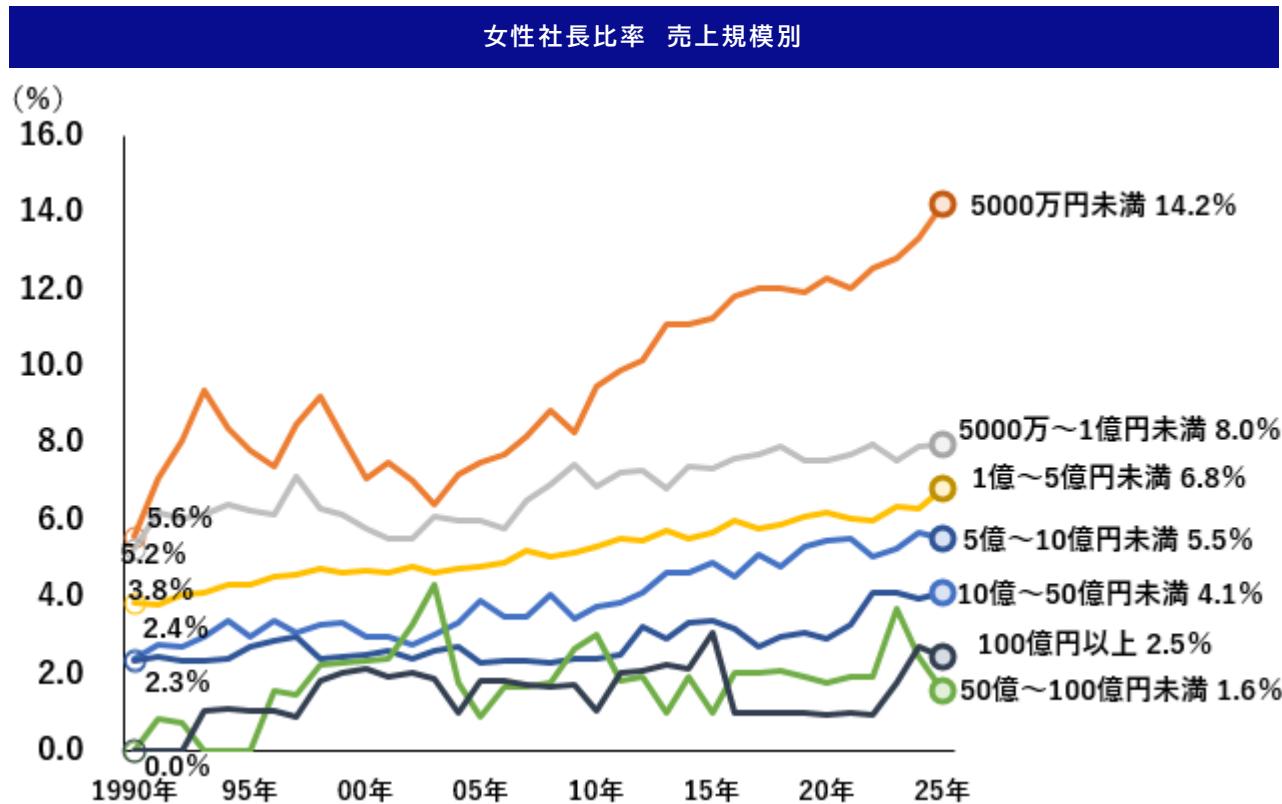
女性社長を年齢構成比でみると、「60～64 歳」が前年から 0.4pt 上昇し 15.7% と最も高かった。次いで前年最も高かった「55～59 歳」は 0.9pt 低下し 15.2% で続いた。現在は 1947 年から 1950 年生まれの「団塊の世代」が 75 歳以上へ移行する期間であることから、「75 歳以上」でみると、18.9% となり、2020 年時点(15.3%)から 3.6pt 上昇している。なお、男性社長でも、最も割合が高い年齢構成比は「60～64 歳」(16.6%)だった。



売上規模別は 5000 万円未満が 14.2%でトップ

売上規模別では、「5000 万円未満」が 14.2%で最も高く、前年から 0.9pt 上昇した。1990 年当時から、他区分と比較して高かったものの、2025 年までの上昇幅(+8.6pt)も最も大きかった。特に 2010 年以降は、大幅な上昇がみられる。

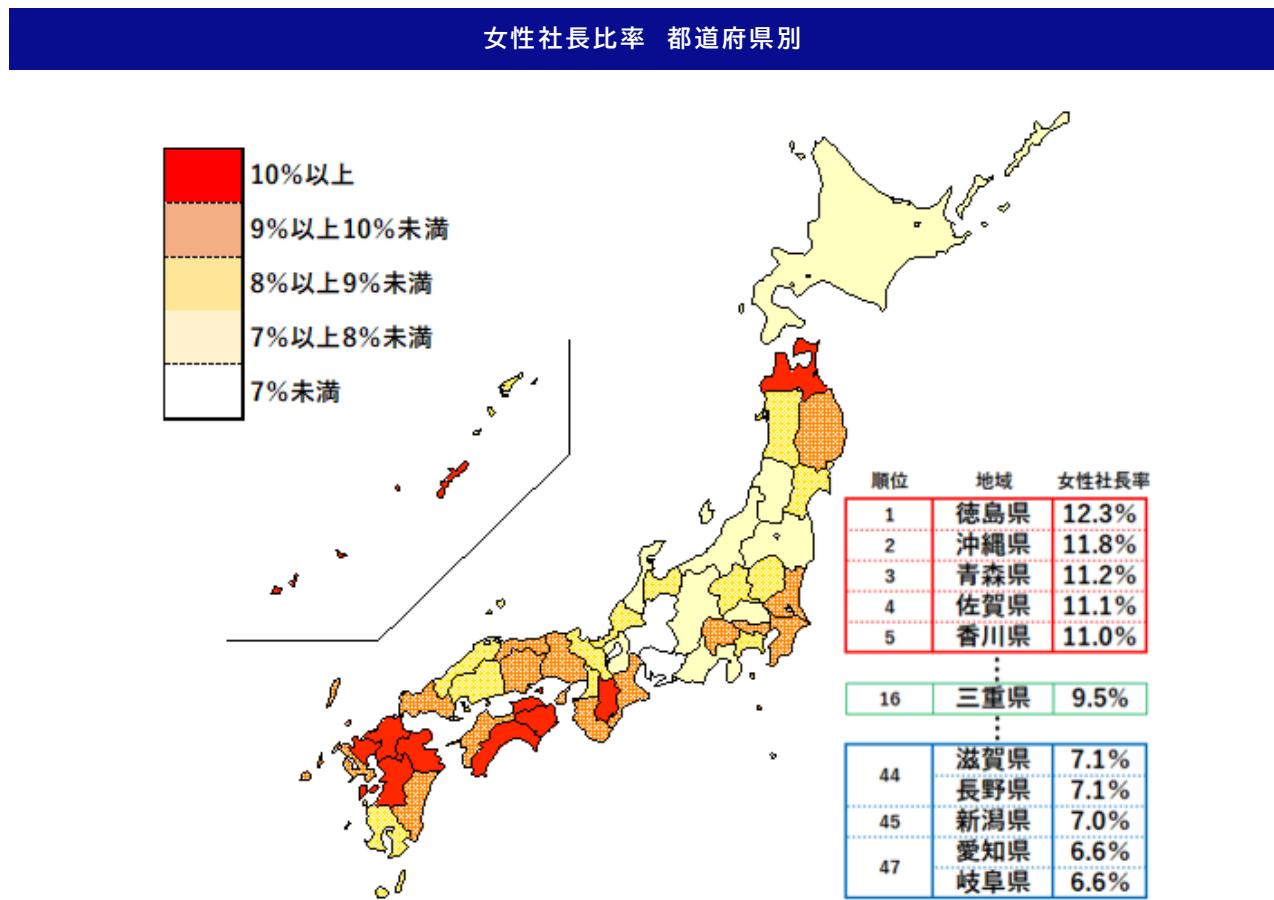
その他、「5000 万～1 億円未満」(8.0%)、「1 億～5 億円未満」(6.8%)など、売上規模が上がるほど女性社長比率は低くなる傾向がみられた。なかでも、「50 億～100 億円未満」は 1.6%で最も低い。



都道府県別 三重県は 16 番目 「徳島県」が 4 年連続トップ

都道府県別では、「三重県」は 16 番目となり、前年調査の 20 番目から 4 ランク上昇した。最も高かったのは「徳島県」の 12.3%で前年から 0.2pt 上昇し 4 年連続のトップ。この徳島県を中心に、四国地方では 3 県が 10%を上回っており、全国的に女性社長割合の高さが目立っている。西日本エリアは全体的に高水準で、九州地方では「沖縄県」(11.8%・2 位)や「佐賀県」(11.1%・4 位)などが高かった。また、「青森県」は 11.2%と全国 3 位となり、東北エリアのなかで唯一 10%を超えた。

一方、16 年連続で最も低かった「岐阜県」(6.6%)や、「愛知県」(6.6%)を中心に、下位 5 県は製造業の割合が高い中部・北陸エリアが並んだ。



出身大学は「三重大学」が 6 年連続でトップ

女性社長の出身大学別では、「三重大学」が 9 社で 6 年連続のトップとなった。次いで「四日市大学短期大学部」と「栃山女学園大学」がともに 6 社で続き、以下、「三重短期大学」が前年から 1 社増加して、「同志社大学」と並んで 5 社となり、「高田短期大学」は前年から 1 社減少して「南山大学」、「中京大学」と並んで 4 社で続いた。

女性社長社数 出身大学別

順位	大学名	(社)	前年比(社)	(社)					
1	三重大学	9	±0	(9)	9	京都外国语大学	3	±0	(3)
2	四日市大学短期大学部	6	±0	(6)	9	金城学院大学	3	±0	(3)
2	栃山女学園大学	6	±0	(6)	9	明治大学	3	±0	(3)
4	三重短期大学	5	+1	(4)	14	三重中京大学短期大学部	2	±0	(2)
4	同志社大学	5	±0	(5)	14	鈴鹿大学短期大学部	2	+1	(1)
6	高田短期大学	4	-1	(5)	14	愛知みずほ大学短期大学部	2	±0	(2)
6	南山大学	4	±0	(4)	14	名古屋文理大学短期大学部	2	+1	(1)
6	中京大学	4	±0	(4)	14	金城学院大学短期大学部	2	±0	(2)
9	鈴鹿大学	3	±0	(3)	14	文教大学女子短期大学部	2	±0	(2)
9	同志社女子大学	3	±0	(3)	14	愛知教育大学	2	-1	(3)

※ () 内は2024年調査時点の人数

まとめ

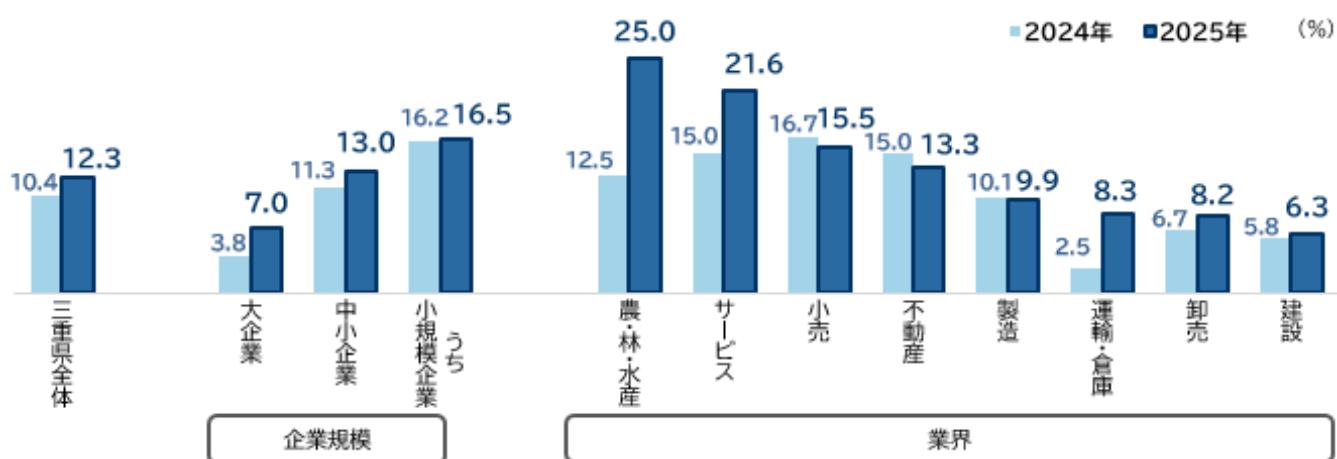
三重県内企業の2025年の女性社長比率は9.5%だった。7年連続の上昇で過去最高を更新したものの、依然として1割を下回る低水準にとどまっている。

改正女性活躍推進法の施行を2026年4月に控えるなか、政府は2025年6月10日に、女性活躍と男女共同参画社会の実現に向けた道筋を示す「女性版骨太方針2025」を決定し、女性が地方でも活躍できる環境の整備を重点課題とした。三重県でもより多くの企業団体が女性の活躍に向けた取組みを実施できるよう旧称「女性の大活躍推進三重県会議」を発足して推進し、今年4月には、これをさらに発展させるべく名称を「輝くみえのミライ☆三重県会議」に変更し、県内経済や地域活力を一層高めていくことを目指している。

なお、帝国データバンク四日市支店が2025年9月に発表した「三重県・女性登用に対する企業の意識調査(2025年)」では、女性管理職の平均割合は前年から1.9pt上昇し、12.3%となり、過去2番目の高さとなった。しかし、小幅の上昇にとどまっており、「役員が全員男性」の企業は依然として4割を超えていた。

2024年10月1日に施行された「代表取締役等住所非表示措置」は、女性の役員登用の促進につながり、起業を後押しするきっかけとして期待される声があるなど、様々な制度の整備・拡充もあり、引き続き女性社長や役員・管理職の割合は緩やかな上昇が見込まれる。さらに女性社長比率を高めるためには、ライフイベントやキャリア、業種に応じた女性起業家への育成・支援を強化し、持続可能で安定的な成長を実現する仕組みづくりが求められる。

参考 三重県内企業女性管理職割合～企業規模、業界別～



三重県・女性登用に対する企業の意識調査(2025年)より／2025年9月9日発表